

自彊前進

題字 西村直子

NO. 46 令和6年2月29日(木)

新潟大学附属新潟中学校 学校だより

文責 教頭

※ 自彊前進…自ら努め励み、前に進むこと
(校歌3番の文言から)

卒業に向けて

Time flies. ——英語では、「光陰矢の如し」をこのように表現します。まさに時間は飛ぶよう過ぎていきます。3月2日(土)に卒業式が挙行政され、119名の3年生が卒業します。

思えば、小学校5年生の3学期に新型コロナウイルスが蔓延し、休校を余儀なくされ、仲間との楽しい活動が制限され、それ以前の様な活動ができず、^{じくじ}忸怩たる思いだったことでしょう。小学校によっては、修学旅行も行けなかったかもしれません。オンラインでの授業も増え、当たり前前の日常がどれだけ大切なものだったのか、痛感したことでしよう。

附属新潟中学校に入学してからは、少しずつ日常を取り戻し、普段の授業はもちろんのこと、ときわ体育祭、すなやま完歩大会、演劇発表会、音楽のつどい等の行事を通して、仲間と関わり合い、切磋琢磨してきました。閉塞感を打破しようと、先輩たちが創意工夫しながら様々な活動に取り組む様子を目の当たりにし、そこに^{あぐら}胡坐をかくことをせず、精一杯創造的な活動に取り組む皆さんの姿は、みなさんが先輩から影響を受けたように、後輩に多大なるインパクトを与えました。

以前の学校だよりでも話題にしましたが、私は皆さんが2年生の時の演劇発表会の小道具(右写真)が大好きです。1年時の演劇『西まじょ』(西の魔女が死んだ)から始まり、最終的に3学年の学級演劇に向かっていく様子を表しています。ここに3年生への覚悟が感じられるからです。

この案内図のように、「新潟大学附属新潟中学校1学年」に始まった皆さんの学びの道は、この先119通りに分かれて行きます。ここからは、皆さん一人一人が自らの『生き方を求めて』進んでいくのです。在校生、先生方、学校関係者全員が、皆さんを応援しています。卒業生119名の将来に幸あれ!



先週行われた立志元服式の様子

